



校報 絆

(きずな)〈9月 特別号〉

令和元年9月24日

岩出市立岩出小学校

「全国学力・学習状況調査」の結果から

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が平成19年から全国の小中学校の最高学年(小学6年生、中学3年生)全員を対象に毎年4月に実施している調査で、前学年までに習った内容について、「知識」(A)と「活用」(B)を問う問題で行われます。(今年度からA・B統合)

また同時に、学習意欲、学習方法、学習習慣、生活習慣等に関する児童質問紙調査(アンケート調査)も行われます。(特に気になる点を以下でお知らせします。)

加えて、本市では3年生から5年生までを対象に独自に学力調査を実施しております。

◆ 学力定着・向上の状況(概況)

これまで3年間にわたり、授業の中で参考図書を積極的に活用したり、「図書館を使った調べる学習コンクール」に全学年で取り組むなど、「調べ学習」を軸に、「考える力」を高めるための授業づくりに、教職員一丸となって取り組んできました。

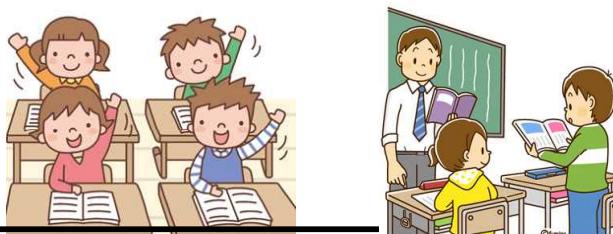
その結果、語彙の少なさや、自分の考えをまとめて表現することなどに多少課題が見られますが、各学力調査の正答率は、各学年共に全国平均や目標値を上回るか同等程度の結果を収めています。また、活用問題の正答率も向上してきています。

全国学力・学習状況調査 (推移)

6年生	教科	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
全国平均 正答率 との差	国語A	▲ 6.3	▲ 2.9	▲ 3.2	1.9
	国語B	▲ 7.0	▲ 2.0	1.6	
	算数A	0.3	▲ 1.5	1.5	1.3
	算数B	▲ 5.1	▲ 1.7	1.7	

市学力調査 (令和元年度)

【参考】 目標設定値(正答率) との差	教科	3年生	4年生	5年生
	国語	6.0	▲ 3.2	7.6
算数	1.3	0.5	6.2	



◆ 「国語」について

これまでA問題・B問題共に、全国平均を下回っていましたが、昨年度、B問題で初めて全国平均を上回りました。今年度も全国平均を上回りました。

- ・漢字(同音異義熟語等)について、その漢字(熟語)の意味が理解できていないことから、結果として正しい漢字が書けていない問題がありました。

◆ 「算数」について

総じてA問題・B問題共に、全国平均をわずかに下回る状況で推移していましたが、昨年度、A・B問題そろって(B問題は初めて)全国平均を上回りました。今年度も全国平均を上回りました。

- ・「示された図形の面積の求め方を理解し、その求め方の説明を記述する」という問題に課題がありました。

規範意識

- ◆ 以前から関係項目で県・国平均を下回る傾向にあり、その傾向は継続しています。
- ◆ 特に、「学校のきまりを守っているか」の間では、「はい」（「どちらかというと」を除く）だけで比較すると、県・全国平均を 30 ポイント近く下回っており、学校生活のルールを守れていない現状が見受けられます。
- ∴ 自覚しているということを前向きに捉え、日々の指導の徹底、委員会活動など自主的な取組の活性化などを通じ、規範意識を高めていきます。

自尊感情

- ◆ 以前から関係項目で県・国平均を下回る傾向にあり、その傾向は継続しています。
- ◆ 特に、「自分には良いところがある」・「先生は自分の良いところを認めてくれている」と考える児童の割合は、昨年度初めて県・全国平均を上回りましたが、例年、県・全国平均を下回る傾向にあり、今年も県・全国平均を下回っています。
- ∴ 自己有用感や達成感を高めていけるよう、日々、子供たちの気持ちに寄り添い、自信をもたせられるような関わり方をしていきます。（各ご家庭でもご協力お願いします。）

生活習慣

- ◆ 多少、就寝時刻にバラツキのあることが見受けられます。
- ◆ 毎日、一定数の遅刻児童のあることが大きな課題です。
- ∴ 親子で行う「生活リズムチェック」や、児童会を中心に「朝の挨拶運動」に取り組むなど、児童自身の自覚を促していきます。（各ご家庭の協力が必要です。）

学習習慣

- ◆ 宿題など与えられた学習については、おおむねきっちりできている様子がありますが、予習・復習をはじめ、計画的（主体的）に学習することという習慣が身に付いていないことがうかがえます。
- ◆ 毎日、2 時間以上勉強している児童の割合は 3 割程度で、県・全国平均とほとんど差はありません。他方、30 分未満の割合は県・全国平均を上回っており、二極化が顕著になっています。
- ◆ 読書量は、例年、県・国平均を下回る傾向にありますが、今年度の児童は比較的読書をしている様子が見えます。しかし、ほとんど読書しない（10 分未満を含む）児童の割合は 4 割を超え、二極化が顕著になっています。

◆ 今後の取組

- ・ 1 時間 1 時間の授業を大切に、弱点の克服に向けた授業の工夫・改善に努めます。
- ・ 休み時間や放課後などを利用して、宿題忘れのチェック・間違い直しを徹底するなど、ていねいな指導に努めます。
- ・ 「朝学の時間」、「補充学習の時間」を有効に活用し、基礎・基本の反復練習を徹底します。
- ・ 生活面の気になる点については、ご家庭の協力を得ながら改善に努めます。
特に、家庭学習の習慣づけ（10分×学年）や、「早寝・早起き」など規則正しい生活リズムの定着について、各ご家庭のご協力をお願いいたします。

